



京橋映画小劇場 No. 35 アンコール特集

Kyobashi-za No. 35

Back by Popular Demand: From the Programs of Recent Years

東京国立近代美術館フィルムセンター小ホール(地下1階)

【開催日】 ※不定期の開催となりますのでご注意ください。

6月28日(水)

7月5日(水)、7日(金) - 9日(日)、12日(水)、14日(金) - 16日(日)、19日(水)、26日(水)

10月11日(水)、25日(水)

11月8日(水)、22日(水)

12月6日(水)



(左上から) 高度7000米 恐怖の四時間、イタリアン・アメリカン、バンド・ワゴン、アウシュウィツの女囚、恋多き女、風と女と旅鴉、なまくら刀(塙内名刀之巻)、羅生門、萬世流芳、幕末太陽傳、大佛さまと子供たち

平素よりお世話になっております。

フィルムセンターでは、毎年、前年度の上映作品の中から特に人気のあった作品について、地下1階の小ホールでアンコール特集を行っております。今年は、**2016年度に上映した6作品(6プログラム)**に加え、**2005年度から2015年度までの11年間に上映した多数の作品の中からも、計22作品(10プログラム)**を選定して上映します。同様の企画は2010年1-2月にも行っており(「アンコール特集:1995-2004年度の上映作品より」、この時はフィルムセンターが新装開館した1995年度から、2004年度までの上映作品の中から19作品(18プログラム)を選定しました。今回のアンコール特集は、言わば、この2010年に続く2回目の「**大アンコール特集**」となります。

上映作品は、昨年度上映して人気のあった押井守監督の『うる星やつら2 ビューティフル・ドリーマー』(1984年)などの他、2005年の発掘上映以来、毎回絶大な人気を誇る李香蘭出演映画『萬世流芳』(1942年)や、その復元が全米映画批評家協会賞を受賞した『羅生門』[デジタル復元版](1950年)、MoMA(ニューヨーク近代美術館)から入手した、マーティン・スコセッシ監督がイタリア移民である両親を撮影した貴重なドキュメンタリー『イタリアン・アメリカン』

(1974年)など、フィルムセンターのコレクションの長い歴史や層の厚さを体現するものとなっており、多くの映画ファンに喜んでいただける企画です。この機会にぜひご周知いただきますようお願いいたします。

■開催概要

企画名:京橋映画小劇場 No. 35 アンコール特集

会期:2017年6月28日(水)から12月6日(水)の期間に不定期に開催

会場:東京国立近代美術館フィルムセンター 小ホール(地下1階)

料金:一般520円/高校・大学生・シニア310円/小・中学生100円/障害者(付添者は原則1名まで)、キャンパスメンバーズは無料

掲載用のお問い合わせ先:03-5777-8600(ハローダイヤル)

本企画ウェブサイト: <http://www.momat.go.jp/fc/exhibition/kyobashi-za35/>

上映作品

◆2016年度上映作品より

*7/7(金)-7/9(日)、7/14(金)-7/16(日)に開催

1. **高度7000米 恐怖の四時間** (1959、東映東京、小林恒夫) **7/7 14:00、7/15 15:00**
→「生誕100年 木下忠司の映画音楽」より
2. **風と女と旅鴉** (1958、東映京都、加藤泰) **7/7 16:30、7/16 12:00**
→「生誕100年 映画監督 加藤泰」より
3. **元始、女性は太陽であった 平塚らいてうの生涯** (2001、自由工房、羽田澄子) **7/8 11:30、7/16 15:00**
→「京橋映画小劇場 No. 34 ドキュメンタリー作家 羽田澄子」より
4. **アウシュウィツの女囚** (1948、フィルム・ポルスキ、ワダ・ヤクボフスカ) **7/8 15:00、7/14 14:00**
→「NFC 所蔵外国映画選集 2016」より
5. **うる星やつら2 ビューティフル・ドリーマー** (1984、東宝=キティ・フィルム、押井守) **7/9 12:00、7/14 17:00**
→「自選シリーズ 現代日本の映画監督 5 押井守」より
6. **GHOST IN THE SHELL 攻殻機動隊** (1995、講談社=バンダイビジュアル=MANGA ENTERTAINMENT、押井守) **7/9 15:00、7/15 12:00**
→「自選シリーズ 現代日本の映画監督 5 押井守」より



元始、女性は太陽であった 平塚らいてうの生涯

◆近年の上映作品より

*6・7月は毎週水曜、10月～12月は隔週水曜に開催

7. **萬世流芳** (1942、中華聯合製片公司=中華電影=満映、朱石麟+ト萬蒼+馬徐維邦+張善琨+楊小仲) **6/28 15:30**
→「発掘された映画たち 2005」(2005年)より
8. **恋多き女** (1956、フランク・ロンドン・フィルム=レ・フィルム・ジベ=エレクトラ・コンパニア・チネマトグラフィカ、ジャン・ルノワール) **7/5 16:00**
→「ジャン・ルノワール監督名作選」(2008年)より
9. **発掘されたアニメーション映画 (計9本の短篇アニメーション・プログラム)** **7/12 16:00**
→「発掘された映画たち 2008」(2008年)より

なまくら刀 (塙内名刀之巻) [デジタル復元・最長版] (1917、作画：幸内純一) / 浦島太郎 (仮) [デジタル復元版] (1918頃) ※
漫画 瘤取り (1929、青地忠三) / 火の用心 (1930、青地忠三) / 古寺のおばけ騒動 (1936、作画：鈴木宏昌) / 熊に喰われぬ男 (1948、大藤信郎)
狐と小鳥 (1948、森野佐登志) / ガリヴァー奮闘記 (1950、黒田外喜男+小沢重行) / バクダツ姫 [最長版] (1948、芦田巖)

※2008年の発掘以来、北山清太郎による初期アニメーション『浦島太郎』(1918)とされてきた作品は、2017年に入って、研究者の調査により北山作品ではないことが判明しました。したがって、当館では『浦島太郎 (仮)』とタイトルを変更し、製作年を「1918年頃」と修正しています。

10. **羅生門 [デジタル復元版]** (1950、大映京都、黒澤明) **7/19 16:00**
→「生誕百年 映画監督 黒澤明」(2010年)より
11. **地獄門 [デジタル復元版]** (1953、大映京都、衣笠貞之助) **7/26 16:30**
→「『地獄門』デジタル復元版特別上映会」(2012年)より
12. **幕末太陽傳 [デジタル修復版]** (1957、日活、川島雄三) **10/11 16:00**
→「日活映画の100年 日本映画の100年」(2012年)より
13. **大佛さまと子供たち** (1952、蜂の巣映画部、清水宏)
奈良には古き佛たち (1953、蜂の巣映画部、清水宏) **10/25 16:00**
→「生誕110年 映画監督 清水宏」(2013年)より
14. **ニューヨークの地下鉄** (1905、アメリカン・ミュートスコープ・アンド・バイオグラフ、G・W・ピッツァー)
ツーリスト (1912、バイオグラフ、マック・セネット)
フラッシング・メドウズ (1965、ジョゼフ・コーネル)
イタリアン・アメリカン (1974、マーティン・スコセッシ) **11/8 16:00**
→「MoMA ニューヨーク近代美術館映画コレクション」(2014年)より
15. **バンド・ワゴン** (1953、MGM、ヴァンセント・ミネリ) **11/22 16:00**
→「MoMA ニューヨーク近代美術館映画コレクション」(2014年)より
16. **總會屋錦城 勝負師とその娘** (1959、大映東京、島耕二) **12/6 16:00**
→「生誕110年 映画俳優 志村喬」(2015年)より



地獄門



總會屋錦城 勝負師とその娘

【本企画に関するお問い合わせ】

東京国立近代美術館フィルムセンター 事業推進室 広報担当

電話：03-3561-0823 FAX：03-3561-0830 E-mail：nfc-pr@momat.go.jp 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6